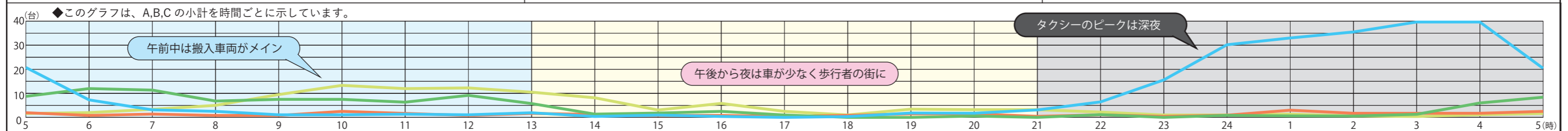
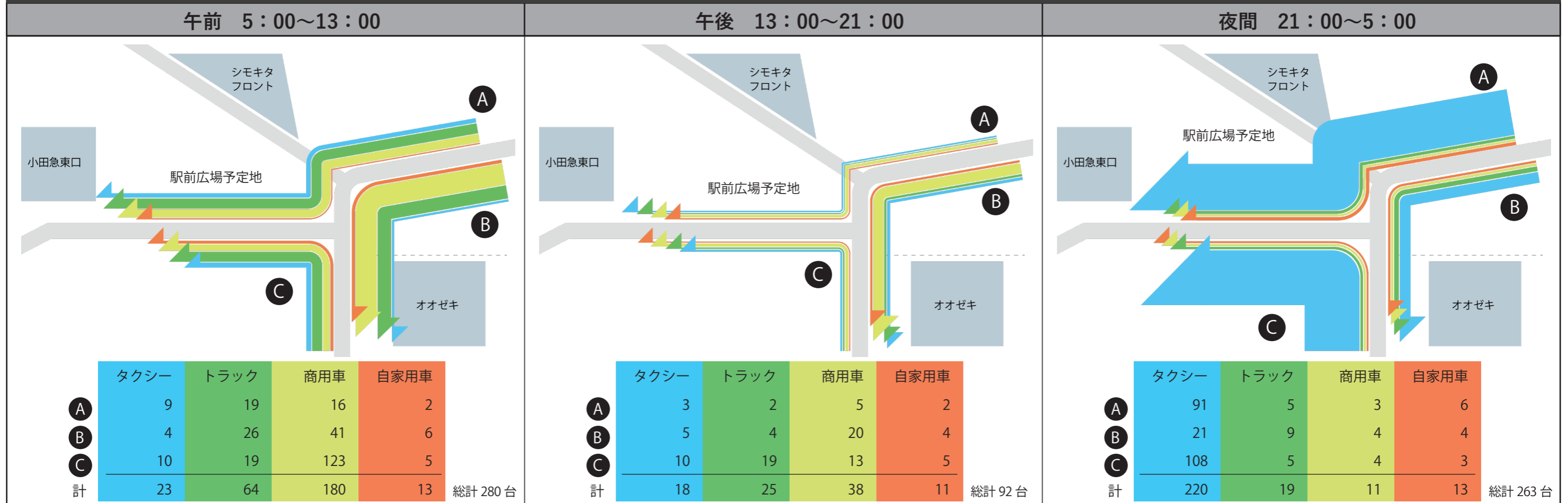


交通量調査を実施しました。

わたしたち駅広部会は、現状の下北沢の自動車の交通状況を調査しました。調査はシモキタフロント上階にビデオカメラを設置し、実際の様子を録画、それを元に数量を計上しました。調査は2022年、5/4(祝)、5/28(土)、6/17(金)、6/23(木)の四日間行いその平均を下図に示しています。ルートはA、B、Cの3ルート。時間帯ごとに下図に示しています。



交通量調査の結果、次のことが分かりました。

- 1) 午前中は、搬入のためのトラック・商用車が多い。
- 2) 午後は、自動車の数は少なく歩行者優先の街が実現している。
- 3) 夜間、特に終電以降の深夜にタクシーが集中している。

下北沢に入ってくる自動車の種類・数量は、図から分かるように時間帯によってははっきりと特徴がみとれます。現在はかろうじてさまざまな用途の自動車のすみ分けができており、それによって歩行空間の安全が成り立っています。工事の進捗による街の変化は、このすみ分けに大きな影響を与えることになるでしょう。

もし駅前広場への接続道（54号線、10号線）が未完成的な状況で、既存道路を使って駅前広場に自動車が入ってくるなら、このバランスが崩れることが予想されます。駅前広場を目指す自動車が、既存道路にあふれる姿を想像してみてください。また交通量調査の結果は、自動車のために必要な駅前広場のサイズ（タクシープールの数量など）がそれほど大きくないことも示しています。過度に自動車を招き入れることを自明のこととせず、いまいちどわたしたちが求める街の姿を共有し、それにみあった駅前広場を考えるよい機会だと思います。自動車を必要とする交通弱者の要望を叶えながらも、そのために別の交通

弱者（安全に歩けない歩行者）を生まないことが、下北沢の街の魅力として求められています。

交通量調査の結果は、さまざまな立場のひとがより安全に街を利用するためのアイデアも引き出してくれそうです。商業者の搬入作業の専用スペースをつくることや、歩行者天国の実施を拡大すること（既に一番街商店街エリアで行われています）、自転車利用のルールづくりなど、歩行者と自動車の共存のために取り組む課題がここからみえてきます。なによりも、実状を知ることから街の変化を捉えていかねばなりません。

街の変化をあなたはどうか受け止めていますか。

街の変化は、みなさんそれぞれの立場へ影響を及ぼすことが考えられます。子育て中の方、高齢者、来街者、商業者などそれぞれ違う影響があると思います。違う立場の影響を知るために、わたしたち駅広部会はそれぞれの立場での考えを集め共有していきたいと考えています。ぜひ、あなたの立場からの声をお聞かせください。

駅前広場の運営を一緒に考えませんか。

駅前広場の整備が進んでいますが接続する道路の完成までもうしばらく待つことになりそうです。そのため広場の暫定利用の可能性が広がるでしょう。駅前広場の使い方をみんなで考え、運営するチャンスとわたしたちは考えています。エリア・マネジメント等の必要について、シモキタテーブル vol.5 で特集しています。ぜひご参照ください。

シモキタテーブル vol.8

発行：駅広部会—シモキタリング 2023.03.12
<http://shimokita-table.com/>

下北沢リンク・パークのHPはFacebook内にあります。ぜひご覧ください。
<https://www.facebook.com/shimokitazawalinkpark/>